

2012年6月7日

## 中国太陽光発電は「冬」の時代 政府・企業間の連携を

### 世界の太陽光発電市場の伸びは大きく減速 川上の多結晶シリコン原料の生産能力過剰が深刻

欧州の一部の国で補助政策の見直しが行われたことや債務危機の影響を受けて、2011年の太陽光発電設備設置容量の伸び率は大幅に下落。設備容量は前年同期比僅か62.9%増の28.5ギガワットで、2010年の伸び率130.3%を大きく下回った。

図1 2006－2011年の世界の太陽光発電設備新規設置容量と伸び率

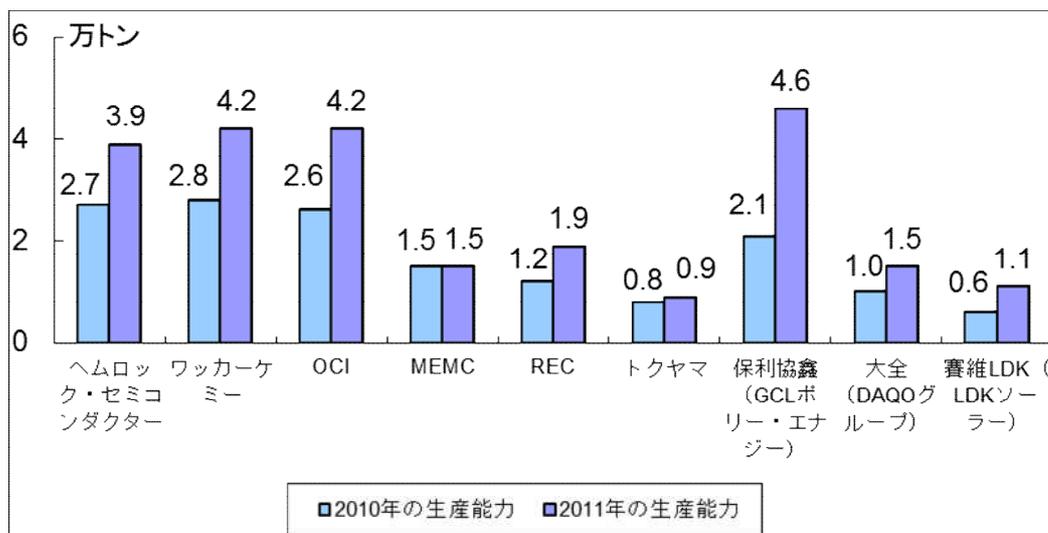


データ出典：CCID(賽迪顧問) 2012, 02

多結晶シリコンの生産には高度な技術が必要なことから、生産能力の大部分はこれまで米MEMCやヘムロック・セミコンダクター、ノルウェー・REC、日三菱電機、独ワッカーケミーといった企業に抑えられてきた。特に2010年に太陽光発電市場が爆発的な成長を遂げて以降、2011年前半には各メーカーがこぞって設備を拡大、同年の世界の多結晶シリコン材料生産量は22万トンに達した。しかし、欧州債務危機の影響で世界市場に急ブレーキがかかり、生産能力の過剰が続く事態となっている。同年初頭の70ドル/kg前後から年末には30ドル/kg前後に下がるなど、価格も大幅に下落。下げ幅は50%を超えた。

■ 電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。

図2 2010-2011年の多結晶シリコンメーカーの生産能力

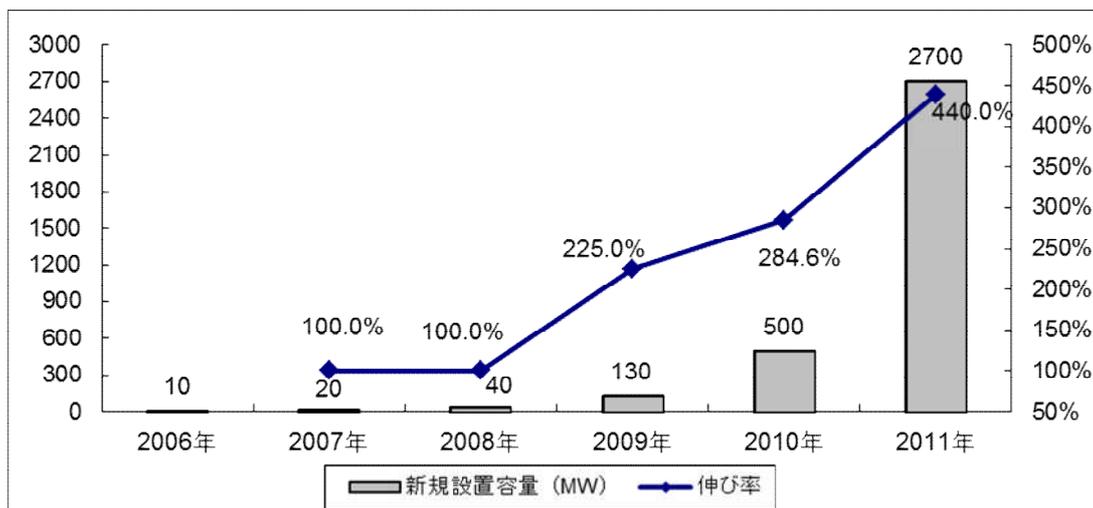


データ出典：CCID(賽迪顧問) 2012, 02

### 中国の太陽光発電は急成長 輸出は深刻なダメージ

国による奨励策や一連のモデルプロジェクトに刺激され、中国の太陽光発電市場はここ数年で爆発的に成長。特に2011年には、電気料金補助特別措置法の公布によりさらに需要が刺激され、新規設置容量は2.7ギガワットと再度爆発的な伸びを見せた。

図3 2006-2011年の中国の太陽光発電設備新規設置容量及び伸び率

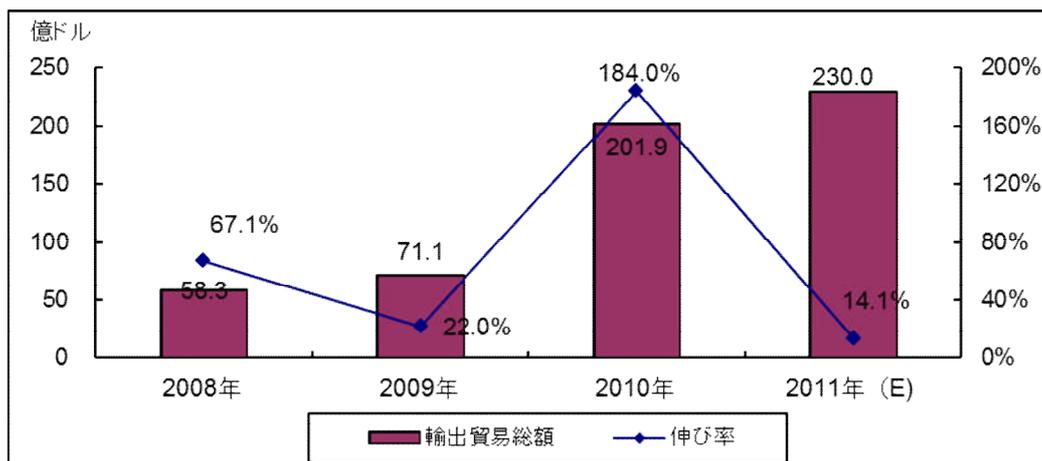


データ出典：CCID(賽迪顧問) 2012, 02

■ 電子的または機械的手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。

ただ、中国は太陽電池製品の輸出大国であり、製品の90%以上が輸出向けである。2011年の輸出入総額の伸び幅が大きく縮小したのは輸出の影響が大きい。中国の同年1月から11月までの太陽電池輸出額は、214億2千万ドルと輸出入総額の91.7%を占めた。最終的な輸出額は前年同期比14.1%増の約230億ドルで、やはり2010年の伸び率184.0%を大きく下回るとみられる。

図4 2008－2011年の中国の太陽電池輸出状況



データ出典：中国税関当局 CCID(賽迪顧問)まとめ 2012, 02

## 激化する貿易摩擦 苦境に立つ中国太陽光発電産業

米ソーラーワールド社は2011年10月19日、メーカー6社と共同で米国際貿易委員会と米商務部に対し、中国の太陽電池(ソーラーパネルを含む)に対する「双反」(反ダンピング・反補助金)調査を要求した。調査が開始されると、その他の国々にも波紋が広がった。同年12月19日には、印商工当局が同国内のソーラーパネルメーカーからの訴えにより、中国産ソーラーパネルに対するダンピング調査を要求すると発表。2012年5月には、米商務部が代替国価格での偏った比較により、中国の結晶シリコンソーラー電池及びモジュールのメーカーや輸出企業が同国内においてダンピングを行っていたと断定。ダンピング幅は31.14%から249.96%だとされた。中国の応訴企業は最高31.22%の関税を徴収され、不応訴企業には249.96%の懲罰関税が課されることになる。

2011年度の世界の10大太陽電池サプライヤーのうち5社が中国内地、3社が台湾のメーカーである。大手数社では、米国市場が無錫尚徳(サンテックパワー)の全市場シェアの20%、英利(インリーソーラー)の15%、天合光能(トリナ・ソーラー)と阿特斯(カナディアンソーラー)でも10%前後になる。今回の米国によるダンピング税率で中国の太陽光発電メーカーのコスト面での優位性は完全に失われ、世界市場における競争力が大きく削がれることになると思われる。

■ 電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。

## 賽迪顧問股份有限公司 (CCID) のご紹介

CCIDは、中国「工業情報化省」傘下で中国最大のコンサルティング会社です。2004年には、中国のコンサルティング会社として初めて香港証券取引所への上場を果たしました。各国の企業に対し、市場調査やマーケティング戦略・販売チャネルの構築支援など多岐にわたるサービスを提供しています。現在は北京本社のほか、上海や広州、深センに支社、日本や米国、韓国、イタリアに事務所を置いてあり、世界的に高い知名度を誇っています。

### ◆日本事務所

- 名 称: CCID日本事務所
- 設 立: 2007年10月
- 代 表: 朱 偉徳
- 所在地: 東京都新宿区西早稲田1-22-2 アス西早稲田東ウイング1F 107  
フォーイースト・パートナーズ株式会社 内
- TEL: 03-5287-5455
- FAX: 03-5287-5831
- 役割: 企業向け中国市場調査サービスのご提供

## サービスメニュー



### 中国市場調査レポート

中国市場の今を知る  
最新マーケティングレポート

2011-2012年版中国市場調査レポートを  
4月1日より販売開始。詳細はこちら↓

[www.j-fep.co.jp/consul/report.html](http://www.j-fep.co.jp/consul/report.html)



### 中国市場データ配信

企業別・地域別最新データの  
定期配信サービス

ご希望分野のデータを定期的にお届けする  
サービスです。詳細はこちら↓

[www.j-fep.co.jp/consul/data.html](http://www.j-fep.co.jp/consul/data.html)



### 中国市場受託調査

政府系コンサル企業による  
ニーズ・目的に応じた調査

調査地域・分野を問わず、お客様固有の  
ニーズに合わせて実施するカスタムリサー  
チサービスです。詳細はこちら↓

[www.j-fep.co.jp/consul/custom.html](http://www.j-fep.co.jp/consul/custom.html)

■ 電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。